

【山形県 実施分】山形県観光復興対策実施計画 平成28年度個別事業評価調査

別紙2

NO	事業名	事業区分	KPI(アウトカム)			個別事業に関する評価コメント
			指標	目標	達成	
1	インバウンド拡大に向けた交通流動・インフラネットワークのあり方に関する調査	観光復興促進調査事業	報告書の結果を踏まえて実施する事業の件数(H29年度指標)	2	-	調査を予定どおり実施した。当該調査により得られた本県に係る交通流動や交通に係る課題は、平成29年度から新たに取組む総合的な交通体系のあり方に関する調査検討や、インバウンド拡大方策、新たな航空路線の可能性の検討などに活用することとしている。
2	「滝」の観光資源開発調査事業	観光復興促進調査事業	報告書の結果を踏まえて実施する事業の件数(旅行商品造成関係)	2	1	本事業の結果を踏まえ、平成29年度において旅行商品造成関係事業を1件実施予定。
3	外国人観光客ニーズ調査事業	観光復興促進調査事業	調査結果を参考に実施する事業件数	20	22	県で行ったインバウンド事業から約650(1言語当り)の分析キーワードを抽出し、①山形県に対する全体的な観光ニーズや評判に対する把握・分析、②施策を評価するための特定の発言に対する把握・分析の2本立てで実施。①については、観光の目的物である観光資源(自然、日本食等6テーマ)と利便性に関わる受入環境(交通、情報等6テーマ)とし、雪ブランドとして長野県等、熊野古道など山岳信仰ブランドとして和歌山県との比較も行った。また、本調査結果については、山形県庁のみならず、市町村・観光事業者等を対象にした説明会を開催し、全県で共有し、市町村や民間事業者等も活用できるものとしている。平成29年度に向けては、評価・分析結果は、事業自体のPDCA確立のみならず、平成29年度の報告をできる限り前倒しするなどの対応により、観光復興対策実施計画の最終年となる平成30年度の事業立案に際し、効果的な指標とし活用する。
4	観光消費額等実態調査事業	観光復興促進調査事業	調査結果を参考に実施する事業件数	20	20	調査日の悪天候等により目標とするサンプル数の確保に苦慮した。平成29年度はサンプルをより確実に確保するために観光案内所や宿泊施設と連携し、アンケートの常設により回収率アップに努めるほか、関係者へ調査結果の周知・共有を図り事業者のインバウンドの取組強化に繋げる。また、調査結果を具体的なインバウンド誘客及び消費額の上昇に繋げることができるよう、県内でモデル地域を選定し、調査結果を踏まえたコンサルティングを実施する。
5	インバウンド航空需要等調査検討事業	観光復興促進調査事業	調査結果を参考に実施する事業件数	4	4	文献調査の実施及び先進地方空港、海外代理店、空港会社等への聴き取り調査並びに県内企業アンケート調査を踏まえ、国際定期便就航までのロードマップとして、フェーズを3段階にわけ施策の展開方向性について整理した。また本事業を通じ、アジアを中心とした航空需用が高まっている現状があるものの、他空港と比較すればインセンティブを拡充する必要があることなど、短期的・長期的視点ともに厳しい現状を把握した。H29の山形空港の国際線ラインの新設等の事業構築の参考としている。
6	外国人観光客接遇研修事業	地域取組体制構築事業	H28研修受講施設の外国人対応者数(人)	10000	-	受講者数においては目標を達成したが、一方で受講者の受講後における施設での外国人対応者を捕捉できなかった。平成29年度は早期の事業実施により、その後一定期間を置いて受講後における外国人対応状況についてアンケート調査を行う予定としている。
7	冬の東北とスノーコンテンツ等発信事業	プロモーション強化事業	①受入コンテンツ確立数 ②受入体制事業実施件数 ③旅行商品造成数 ④冬季インバウンド来訪者数 ⑤プロモーションリーチ数 ⑥雑誌等発行部数 ⑦HP訪問者数	①- ②- ③24 ④- ⑤6,000,000 ⑥- ⑦-	①- ②- ③- ④- ⑤140,969,000 ⑥- ⑦-	交付金2次で採択頂いた広域連携事業のため、諸手続きを経て事業開始が12月下旬からとなり、実際のウインターシーズンからのスタートとなったため、一部事業は年度内で成果を示せなかった。 今まで、東北全体の冬の取り組み(誘客)は十分できていなかったが、セールスツールやパンフレットなどの製作ができた。 スノーモンスター(樹氷)などのキラコンテンツや、スキーなどの取り組みに限らず、冬の祭りや酒蔵・食文化などの把握に努めた。
8	雪を活用した外国人観光誘客事業	プロモーション強化事業	①外国人来場者の満足度向上、県内雪祭りの誘客促進 ②外国人来場者の満足度向上、県内雪祭りの誘客促進	①- ②-	①- ②-	外国からの来場者については、台湾、中国、香港、韓国、ASEAN等から、昨年度(約100名)を大きく上回る270名以上の来場者があった。 ※アウトカム指標の目標値及び達成値については、県全体の目標値となっているため、当該事業のみの値の記載は困難

NO	事業名	事業区分	KPI(アウトカム)			個別事業に関する評価コメント
			指標	目標	達成	
9	東北六県合同プロモーション事業	プロモーション強化事業	①観光等交流拡大に関する覚書 ②チャーター便運航	①2 ②1	①2 ②6	東北6県等の合同セールスに合わせ、県単独のプロモーションを行い、宜蘭県及び高雄市と観光等交流拡大に関する覚書を締結し、その後のチャーター便運航に結び付けるなど、大きな成果を挙げることが出来た。次年度に向けては、香港で実施する計画であるが、震災からの回復に最も苦戦している市場であるため、他県等と連携を行い、東北の魅力と安全のアピールを行い、誘客回復の足がかりになるようなプロモーションを実施したい。
10	海外エージェントタイアッププロモーション事業	プロモーション強化事業	①これまで企画されたことがない新たなツアー商品の造成 ②①の旅行商品予約件数 ③関連する旅行社への働きかけ、広告支援等による商品造成 ④③の旅行商品予約件数 ⑤チャーター便運航	①4 ②400 ③10 ④200 ⑤1	①3 ②144 ③33 ④3414 ⑤0	台湾は現地エージェン트에広いネットワークを有する旅行誌出版社、韓国は旅行商品造成に影響力の大きいランド社にそれぞれ委託を行った。最大の目標であったチャーター便の運航を実現することはできなかったが、両市場ともに、山形旅行商品の造成・販売を現地旅行社へ働きかけた結果、商品予約件数については大きな成果を挙げ、概ね目標を達成したものと考えている。平成29年度に向けては、観光庁発表のH28宿泊統計確報においても、台湾：30,990人(H27 24,660人 前年比125.7%)、韓国：7,830人(H27 6,230人 前年比125.7%)と大きな伸びを見せ、宿泊者数の伸びには本事業が寄与している部分もあり、H29は対象市場を香港、ASEANに拡大し、さらなる誘客拡大を図る。
11	仙台国際空港連携プロモーション事業	プロモーション強化事業	①台湾ブロガーにより発信された情報発信閲覧件数 ②広報PR閲覧件数 ③韓国ゴルフメディアにより発信された情報発信閲覧件数 ④ホームショッピングにより制約した旅行商品予約件数	①10,000 ②20,000 ③5,000 ④300	①677,515 ②25,120,231 ③- ④156	台湾市場は東北初のLCCが就航したことを背景に、人気ブロガーの招聘や利用者の多い公共交通機関を活用した広告PRを行い、目標を大きく上回る事業成果を挙げた。韓国市場はゴルフ旅行社関係者の招聘により、新たなグリーン期の旅行商品の造成につながった。また、韓国ホームショッピングを活用した商品を販売したが、放送直後に福島県沖地震が発生したことで、キャンセルが相次ぎ、目標を達成することはできなかった。平成29年度は、中国も加え、4月に運行開始された仙台国際空港から山形及び庄内への直行バスを組み合わせ、アクセス性の良さをPRしながら、誘客拡大に取り組む。
12	航空キャリア提携旅行エージェンツ誘致促進事業	プロモーション強化事業	国際線便数	1,400	-	仙台空港に就航している国の航空会社とその航空会社との取引関係の深い旅行会社を招聘し招聘、商談会については、目標を大きく超える回数を実施した。当年度での事業成果としての旅行商品化については、次年度以降のフォローアップにて進めていく。平成29年度は東北域内に新規就航やチャーターへの取り組みと並行して、広域周遊の観点を視野に取り組んでいく。
13	ショートムービー制作事業	プロモーション強化事業	再生回数総数	45,000	1,092,990	実際に外国人観光客が4日間で山形県内の観光地を周遊、滞在する様子を動画にしたことで、滞在型観光のPR及び誘客促進を図った。また、平成29年2月に台湾、シンガポール、タイの旅行エージェンツ計29社を訪問した際にも本ムービーを用いたPRを実施し、現地で本県の認知度向上を図った。平成29年度には本ムービーを活用したマーケティング調査を実施し、動画視聴者の属性を把握することでマーケティングデータを取得し、30年度以降の事業構築の際に活用する。
14	デジタルコンテンツプロモーション事業	プロモーション強化事業	①動画再生回数 ②動画広告再生回数 ③WEB閲覧者数 ④リマーケティング・データ活用事業数	①4,000,000 ②3,640,000 ③40,000 ④1	①17,654,763 ②16,017,950 ③240,619 ④1	秋動画(906万回再生)、冬動画(866万回再生)は、自治体等が作成する観光プロモーション動画としては過去最高の再生回数を記録し(東北観光推進機構調べ)、動画配信による動画視聴者の属性把握ができるようになったことで、次年度以降のリマーケティングデータとして活用が可能となった。平成29年度に向けては、夏の動画を作成(春は、交付金採択までのスケジュールでは難しいため、JNTO対応)、秋・冬は本成果物を活用し、旅行申し込み時期に合わせたプロモーションの実施や、マーケティング人材育成を図っていく。
15	旅番組制作・放映事業	プロモーション強化事業	①番組視聴数 ②媒体接触者数 ③動画再生回数	①450,000 ②8,150,000 ③100,000	①466,089 ②8,150,000 ③162,161	台湾において、テレビチャンネル数が100以上あり視聴率を稼ぐことが難しいといわれる中、人気の旅番組と連携することで、目標値以上の効果を達成することができた。また、街頭ビジョンでの放映も①繁華街②旅行会社が集中しているオフィス街の2か所にて実施し、効果的なPRを行った。平成29年度は制作したDVDを用いて、旅行博での広報や旅行エージェンツへのセールスを引き続き実施し誘客促進に努める。

NO	事業名	事業区分	KPI(アウトカム)			個別事業に関する評価コメント
			指標	目標	達成	
16	外航クルーズ船おもてなし事業	プロモーション強化事業	オプショナルツアー参加率	30	-	外航クルーズ船で本県を訪れる外国人観光客に本県の観光の魅力をPRし、船社が実施するオプショナルツアーの参加など酒田港下船後の誘客促進を図るため、酒田港を起点とする観光パンフレットを作成した。平成29年度に本県初となる外航クルーズ船寄港するため、寄港に合わせ、乗客に本パンフレットを配布し、誘客促進に努める。
17	月山ジオパーク構想モニターツアー事業	プロモーション強化事業	①招請したメディアにより発信した情報の閲覧件数 ②コンサートにおける映像制作・ウェブ配信閲覧件数	①70000 ②30000	①- ②30000	昨年、日本遺産の認定を受けた出羽三山と山形の文化を象徴する存在である山形交響楽団のコラボレーションによる屋外でのコンサートを実施し、重層的な事業展開によるジオパークの魅力向上を図り、インバウンドの誘客効果を上げる取組みを行った。
18	仙台・山形在住留学生モニターツアー事業	プロモーション強化事業	①SNS等発信情報に対するいいね(Like)総数 ②露出メディア媒体接触者数 ③発信情報へのリーチ総数	①3,000 ②40,000 ③40,000	①3,020 ②102,748 ③186,578	モニターツアーに参加した、留学生、ブロッガー、メディア共に日本らしさ、仙台山形らしさが伝わる写真による情報発信が行われた。SNSで公開した際、写真写りが良い(通称インスタ映えする)素材が多く取り上げられ、目標値を大きく上回るリーチ数を獲得した。平成29年度に向けては、より多くの台湾人に本県の魅力が伝わるように、台湾において訴求力が高い、情報発信力の高いブロッガーやメディアを中心とした招請を行う。
19	首都圏在住留学生モニターツアー事業	プロモーション強化事業	①ツアー参加者によるSNS情報発信リーチ総数 ②発信情報へのリーチ総数	①12,000 ②20,000	①64,664 ②366,493	モニターツアーを通しSNSによる情報発信を行った。参加した留学生から動画やブログ、フェイスブック、インスタグラムなどそれぞれの媒体を活用したSNS情報発信を複数回行い、多くのリーチを獲得した。平成29年度に向けては、参加者個人によるSNS情報発信のみならず、参加者自国の観光情報サイトとも連携して効果的な情報発信を行い閲覧者の拡大に努め誘客促進を図っていく。
20	タイ有カメディア事業	プロモーション強化事業	露出メディアへの媒体接触者数	40,000	493,670	タイ人に訴求力のある「紅葉」や「雪」を招請のメインテーマとすることで、目標値以上のアウトカムを達成することができた。また、既述のテーマに加え、山形仙台両地域に共通する「日本遺産」の要素を行程に盛り込んだことや、庄内イン仙台アウトという両地域の空港を起点とした行程としたことで、新たな観光資源及び周遊ルートの情報発信に繋がった。平成29年度に向けては、個人旅行(FIT)化が進むタイへ向けて、観光資源のPRだけではなく、具体的なアクセス情報等も併せて発信し、急増するFIT層へのアプローチを強化する。
21	教育旅行商品造成モニターツアー事業	プロモーション強化事業	招請学校の本県への教育旅行の実施	5校	-	高崎市や宜蘭県といった南部や台北周辺からの旅行を想定し、大阪乗り継ぎで東北に入るルートや仙台空港直行便を利用し、山形への移動時間を最小とするルートでの招請を行い意見を聞いたことは成果である。また、単独による招請であるため教育旅行で想定するメニューを多く体験してもらい、具体的感想を得たことは大きな収穫である。平成29年度採択なし。上記結果による成果を今年度の誘致活動や実施に活かすのである。
22	ピアノコ財団招聘事業	プロモーション強化事業	①ピアノコ財団HP内山形情報ページの閲覧回数(回) ②講演会参加者による外国人向け滞在コンテンツの開発数(件)	①15,000 ②5	①12,688 ②1	ピアノコ財団HPへの山形県観光情報の掲載件数は目標を下回ったものの、閲覧回数は8割を超え、効果があったと考えられる。外国人向け滞在コンテンツの開発については、より多くの観光事業者等の参加につながるテーマ設定等を検討する。
23	庄内観光プロモーション強化事業 in TIAT	プロモーション強化事業	来訪者の連絡先等獲得件数	20	14	来訪者の連絡先の獲得については、立ち寄っていただく方は251人であったが、名刺交換まで至る方については、目標を若干下回った。今回のプロモーションのアンケート等を今後の観光誘客に生かしていく。
24	民間バス等インバウンド受入環境整備支援事業	受入環境整備事業	補助対象事業者の新規受入環境整備実施件数	4	4	民間バス事業者において、券売機、デジタルサイネージ、案内看板の設置や、ホームページの多言語化などについて当初の予定どおり実施し、目標を達成したことにより、訪日外国人旅行者の利便性の向上が図られた。今後はこれらを活用し、積極的な誘客に繋げていきたい。

NO	事業名	事業区分	KPI(アウトカム)			個別事業に関する評価コメント
			指標	目標	達成	
25	山形空港二次交通のインターネット受付・多言語対応構築事業	受入環境整備事業	①予約システム利用者のうち外国人の利用率(H29年度指標) ②予約センター利用者のうち外国人の利用率(H29年度指標)	①2.8 ②2.8	-	山形空港の二次交通予約システムを予定どおり稼働した。日本人中心の利用になっているが、外国人の予約・利用も入ってきており、航空会社のホームページの二次交通情報への掲載など、外国人の利用者増に向けて、予約ページへの誘導先について広げていく。
26	空港関係者の外国語研修、外国人への接客研修	受入環境整備事業	受講者の接客改善認識(H29年度指標)	80	-	空港内の様々な場面を想定し、外国語研修と、外国人への接客研修を実施できた。H29も更に高いレベルでの研修を実施予定であり、外国人旅行者の利便性向上に努めていく。
27	海外インバウンド受入環境整備事業	受入環境整備事業	①QRコードの利用件数(H29年度指標) ②外国人利用者数(H29年度指標)	①500 ②2,500	-	観光マップ、二次交通情報を多言語音声化するQRコード、及び6カ国語表示を行う情報表示板の導入を目標どおり設置することができた。空港利用者の意見・要望を踏まえ、必要に応じ、改良・改善を図り、外国人旅行者の利便性確保・向上に努めていく。
28	フラワー長井線多言語対応事業	受入環境整備事業	①整備後1年間の外国人利用者 ②外国からの閲覧件数	①10 ②10	-	事業完了が平成29年3月末であったため、アウトカム指標となっている整備後1年間の外国人利用者や閲覧件数などはまだ実績が出せなかったが、平成29年4月頃のツアー客の入りこみ情報では、海外からのツアー客も入るようになったとのことであるので、一定の成果は出たと考えられる。 平成28年度は取組みが遅くなったことから、案内看板などは限られたところまでしか出来なかったが、今後、更なる海外からの誘客促進、受入環境整備を図るため、山形鉄道株が中心となって順次進めていく。
29	やまがた名水の魅力再発見事業	受入環境整備事業	ホームページ(多言語標示)へのアクセス数	50	32	多言語版パンフレットは28年度末に完成。ホームページは、日本語版のページを28年11月公開。県ホームページの翻訳機能を使っての閲覧を想定し、全アクセス数の10%が国外と想定して28年度実績を算出した。外国語標示のホームページは29年5月以降、言語毎に順次公開した。
30	自然公園施設整備	受入環境整備事業	H29のツアーによる外国人登山客数の伸び	100人	-	鳥海国立公園における誘導標識等の多言語化については、標識設置工事が8月末に完成したが、完成後のツアー客数についてはまだ募集中のものがあるため現時点で評価できない。 (29年度実績は平成30年3月に判明する予定)
31	商業施設インバウンド促進支援事業	受入環境整備事業	補助事業者の免税売上高 ①1店舗(千円) ②20店舗(千円)	-	-	補助事業者の整備完了が年度途中であったため、アウトカムの目標値はH29に設定する。
32	工芸品パンフレット作成事業	受入環境整備事業	①パンフレット掲載箇所、掲載工芸品の展示場所・購入可能な県内観光施設への外国人入込客数 ②産地訪問ツアーの造成	①H30年まで1,000人 ②3ツアー	-	県内の伝統工芸品製造事業者へ取材を行い、山形県の工芸品の魅力を伝えるパンフレット・リーフレットの作成を行った。平成28年度は県外を含む関係機関等へ配布したが、今後はさらに、海外旅行者への配布や外国人旅行者が多く集まる場所への配置に努める。
33	24時間通訳システム導入事業	受入環境整備事業	通訳システムを活用した対応件数	200	31	実証的に、駅や空港等の観光案内所を中心に、外国人観光客立寄施設19施設に設置した。実施が冬季間に留まり、設置を促す周知が充分ではなく、また施設によっては閑散期であったことから、利用回数は目標を下回った。平成29年度は年度早期に取り組み、実証期間の確保に努めるとともに実証施設の拡大を図り、本システムの利用状況の把握(ニーズ把握)に努め、今後拡大が見込まれる外国人観光客の受入態勢の向上に活用していく。
34	ウェブサイト多言語化サポート事業	受入環境整備事業	助言した観光HP閲覧件数	400,000	600,000以上	当該ホームページは、自動翻訳により多言語対応を行っているが、伝わらない又は誤解を与える翻訳の箇所が相当数あり、修正したこと、またそれに附随して自動翻訳機能の精度改善に資するものであったことは費用対効果の高い事業であると評価している。
35	受入態勢整備総合支援事業	受入環境整備事業	整備後1年間の外国人観光客利用件数	12,000	-	支援施設は目標を達成し、宿泊施設や観光施設等で受入強化が図られたが、指標としている整備完了後1年間の利用件数については検証期間に至っていないため把握していないが、追跡調査を行い整備後の外国人利用状況の把握に努めていく。

NO	事業名	事業区分	KPI(アウトカム)			個別事業に関する評価コメント
			指標	目標	達成	
36	レンタカーを活用したドライブ周遊観光促進事業	受入環境整備事業	①プロモーション事業件数 ②ホームページリーチ数 ③モデルコース作成数 ④チラシ及びポスター掲示箇所へのイベント来訪者数	①10 ②50,000 ③10 ④3,000	①13 ②7,217 ③10 ④12,000	調査主体の事業となり、プロモーションを中心に実施し、レンタカー利用の促進を図ることができた一方、新規に開設した特設サイトはのりーチ数は目標を下回った。来年度は、上記取組みを推進するとともに、レンタカー事業者の課題解決と利用者の間に立った具体的取り組みを進める。
37	山寺観光情報発信事業	受入環境整備事業	①研修参加者数 ②山寺へのインバウンド来訪者数 ③SNS情報発信数 ④関連周遊プログラム作成数	①190 ②4,200 ③50 ④1	①250 ②7,600 ③50 ④0	事業を通して、天童温泉と山寺の連携をより深めることとなった。次年度に向けては、山寺に来る外国人観光客は仙台から入ってくる人が多いが、山寺と天童温泉の外国人観光客の動きの流れを作る必要がある。
38	温泉地と市街地をつなぐ二次交通の整備実証実験事業	受入環境整備事業	事業継続に向けた課題抽出数	10	6	事業実施にあたり、乗合式ではなく、募集型企画旅行(ツアーバス)での運行で実施した。実施時期や告知方法の問題もあり、必ずしも十分な集客には結びつかなかったが、当該実証実験で課題を抽出することができた。
39	「置賜さくら回廊」多言語観光パンフレットの作成事業	受入環境整備事業	置賜さくら回廊入込数	2500	—	平成29年度以降に、国内外へのセールスプロモーションで配布し、置賜さくら回廊へのインバウンド誘客に向けた新たな商流の発掘を進める。
40	庄内空港国際化機能強化整備事業	受入環境整備事業	①訪問先の増加数 ②整備後1年間のホームページアクセス数	①3 ②26	①— ②—	補助事業者の整備完了が年度末であったため、アウトカムについては、次年度以降のフォローアップにて進めていく。次年度に向け国際チャーター便の誘致をはじめとする来訪外国人人数の拡大に取り組んでいる観光担当部局との連携を強化していくとともに、庄内空港利用振興協議会の助成制度の周知等、積極的に航空会社、旅行会社にPRしていく。
41	訪日外国人安全・安心環境整備事業	受入環境整備事業	①部内通訳人の通訳延べ日数(日/年) ②翻訳タブレットを活用した対応回数(回/月)	①200 ②50	①120 ②6	①については、より専門的かつ高度な通訳が必要な場合等は部外通訳人に依頼していることもあり、目標達成には至らなかった。②については、導入時期が観光シーズンから外れていたこともあり交番等への外国人来訪者数が少なく目標達成には至らなかったが、今後の行案期には多数の活用が想定される。
42	雪を活用した魅力創造事業	滞在コンテンツ充実・強化事業	①外国人観光客来場者増加数 ②アンケート結果を活用して改善するプログラム数	①500 ②1	①1108 ②1	事前の広報期間が短く周知が十分と言えない状況だったが、当日における地元観光協会や周辺施設の協力による宣伝効果もあり、目標を達成できた。次年度はイベントの開催時期や内容を早期に決め、海外プロモーションとの連携やwebを活用した広報等の事前周知に力を入れ、引き続き増加を目指す。アンケートについては1,500を超えるサンプルを回収できた。その結果を踏まえ、次年度はより満足度の高いイベントとなるよう改善策を検討する。
43	観光商品販売強化事業	滞在コンテンツ充実・強化事業	オペレーターの対応件数 英・中各20件/月	120	66	県内観光事業者においては、インバウンドに取組む機運醸成につながり、海外旅行社からは旅行商品を造成するにあたり、非常にいい仕組みであると高い評価を得た。28年度は年度途中での交付金予算措置であり、実質的には下半期での事業執行となり、海外セールスを実施できたのは年度末近くの時期であったが、既に旅行社から委託事業者への問合せもあり、旅行商品造成・販売、送客実績も挙げたところ。29年度は着地型旅行商品の充実(40企画達成目標)を図り、前年度のセールスの成果が旅行商品の販売・造成及び送客にしっかりと繋がるよう、事業進捗管理の徹底に努める。
44	漫画ミュージアム事業	滞在コンテンツ充実・強化事業	外国人利用者数	100	1704	サイン色紙・ゆかりの品等について、最上地域ゆかりの漫画家の方々から事業趣旨を理解いただき原画を数多く提供いただいたほか、地域住民等からもサイン色紙の提供をいただき、目標をはるかに上回る収集・展示内容となった。なお、このほかにも、関連グッズ、書籍の購入を行った。その結果もあり、目標をはるかに上回る来場者数となった。次年度に向けては、更なる情報発信、PRに努めるとともに、展示内容の充実や外国人向けの説明・案内の充実を図る必要がある。
45	外航クルーズ船受入態勢整備事業	滞在コンテンツ充実・強化事業	①観光モデルルート活用件数 ②案内データの活用件数	①5 ②15	①7 ②16	外航クルーズ船の船社に対しプロモーションの際に使用し、実際のツアーコース採用件数も目標を達成出来た。今後も作成したルートを活用していく。
46	MICE誘致促進に向けた情報発信事業	国際会議等誘致・推進事業	将来のMICE開催回数	2	1	平成29年度以降に、インターネットサイト等で、作成したセールスシートを公開し、MICE誘致に向けた取組みを進める。

【山形県山形市 実施分】山形県観光復興対策実施計画 平成28年度個別事業評価調査

NO	事業名	事業区分	KPI(アウトカム)			個別事業に関する評価コメント
			指標	目標	達成	
1	環蔵王関係市町村連携台湾プロモーション事業	プロモーション強化事業	①旅行商品造成数 ②宿泊者数	① 15 ② 14300	① 1 ② 23118	宿泊者数については目標を大きく上回る結果となったが、旅行商品造成数については1本のみに留まっている。商談件数の多さに比べて旅行商品数が伸び悩んでいるため、今後の課題としてはブースでの商談をいかに次のビジネスに繋げ、宿泊者数を増やしていくかが重要である。
2	日本三大樹氷ブランド化誘客推進事業	プロモーション強化事業	①旅行商品造成数 ②招聘3カ国冬季宿泊者数	① 8 ② 6000	① 3 ② 7640	①旅行商品造成数は目標には至らなかったが、事業が年度末行ったため、平成29年度から効果が表れると考える。 ②目標についてはほぼ達成できた。事業が年度末に行ったため、平成29年度に効果が表れると考える。
3	スノーリゾートの充実とブランド化事業	プロモーション強化事業	①調査結果活用事業数 ②旅行商品造成数(予定) ③観光サイトへのアクセス数	① 5 ② 20 ③ 1000	① - ② 1 ③ 2207	①平成28年度は調査事業を実施し、平成29年度以降それを活用した事業を実施する。 ②ファムツアー等を通して旅行商品の造成を図ったが、平成28年度は目標数を大きく下回った。平成29年度は、ファムツアーのほかに、空港等との連携を図り、商品造成数の増加を図る。 ③外国人向けプロモーションの実施により、目標以上の成果を達成した。
4	多言語観光地案内誘導サイン整備事業	受入環境整備事業	整備後1年間の利用者数(3観光地)	16000	-	多言語観光案内誘導サインを設置したことにより、これまであまり知られていなかった観光スポットへの誘客や、訪日外国人のイメージアップが図られることが期待される。案内誘導サインは平成29年3月設置のため、平成29年度から効果が表れると考えられる。
5	仙台まるごとバス指定エリア拡大事業	受入環境整備事業	エリア拡大の実施時期	30	30	フリーバス導入に向けた検討会については、さらに積極的な働きかけをすべきであったと考える。
6	雪を活用した魅力創造事業	滞在コンテンツ充実・強化事業	①外国人観光客来場者増加数 ②アンケート結果を活用して改善するプログラム数	① 500 ② 1	① 1108 ② 1	事前の広報期間が短く周知が十分と言えない状況だったが、当日における地元観光協会や周辺施設の協力による宣伝効果もあり、目標を達成できた。次年度はイベントの開催時期や内容を早期に決め、海外プロモーションとの連携やwebを活用した広報等の事前周知に力を入れ、引き続き増加を目指す。 アンケートについては1,500を超えるサンプルを回収できた。その結果を踏まえ、次年度はより満足度の高いイベントとなるよう改善策を検討する。

【山形県米沢市 実施分】山形県観光復興対策実施計画 平成28年度個別事業評価調査

NO	事業名	事業区分	KPI (アウトカム)			個別事業に関する評価コメント
			指標	目標	達成	
1	外国人観光客をターゲットとした「おきたま観光コンシェルジュ」プロジェクト	受入環境整備事業	(H29年度ポータルサイト運用開始後) ①投稿記事数 ②フォトダウンロード数 ③山岳温泉トレイル動画再生回数 ④置賜地域PR映像再生回数 ⑤外国人観光客受入数	①100本 ②300枚 ③3000回 ④3000回 ⑤(H30) 17,181人	(H29.9時点) ①426本 ②- ③1,817回 ④522回 ⑤(H28年) 6,339人	ポータルサイト運用後、上半期の数値としては概ね順調に推移している。ただし、③のフォトダウンロード数については、一定の配布数はあったものと推察されるが、システムエラーにより計測できなかったため、システム改良のうえ、引き続き目標の達成を目指したい。また、⑤については、本事業の継続実施のほか、当地域におけるインバウンド事業の着実な実施により目標値の達成に向けて引き続き務めていきたい。
2	会津・置賜広域圏外国人観光客誘致促進事業	プロモーション強化事業	情報誌掲載箇所(温泉)への外国人宿泊客数	H30 4,402人	H28 2,292人	外国語着地型観光情報誌を制作し、会津若松市、喜多市と連携して効果的と想定される個所に配布を行ったほか、プロモーションで活用している。来年度以降も3市で連携して事業を実施し、アウトカムの達成に努める。

【山形県鶴岡市 実施分】山形県観光復興対策実施計画 平成28年度個別事業評価調書

NO	事業名	事業区分	KPI(アウトカム)			個別事業に関する評価コメント
			指標	目標	達成	
1	ユネスコ食文化創造都市鶴岡情報発信機能整備事業	受入環境整備事業	外国人の訪問先増加数 (目標は平成32年度目標)	3	-	観光案内所基本構想・設計の検討・作成することができた。そのためこのたび整備した観光案内所の機能を活かし、目標値を達成できるように、継続的に取り組みを進める。
2	食文化体験ツーリズム充実・強化事業	滞在コンテンツ充実・強化事業	食文化体験ツーリズム参加者延べ宿泊者数(目標は平成30年度目標)	3,000	-	鶴岡ガストロノミーフィールドミュージアム構想推進計画書(鶴岡ツーリズム・鶴岡食と風土の祭典実施計画)を策定し、次年度以降の食と風土の祭典の開催についての基盤を整えることができた。

【山形県新庄市 実施分】山形県観光復興対策実施計画 平成28年度個別事業評価調書

NO	事業名	事業区分	KPI(アウトカム)			個別事業に関する評価コメント
			指標	目標	達成	
1	雪国インバウンド強化事業	滞在コンテンツ充実・強化事業	①動画閲覧者数(回) ②体験コンテンツ利用外国人数(人) ③旅行商品の造成数(件)	①100 ②50 ③2	①121 ②52 ③1	今年度は平年と比べて降雪量が少なく、大型の雪像制作ができなかったが、主要な体験コンテンツは実施できた。旅行社等のエージェンツ招請をはじめ、個人の外国人旅行者(FIT)やツアー誘致も成功した。冬季限定の観光コンテンツとして次年度以降も引き続き商談会や旅行博等にてPRを進めてゆく。

【山形県上市市 実施分】山形県観光復興対策実施計画 平成28年度個別事業評価調書

NO	事業名	事業区分	KPI(アウトカム)			個別事業に関する評価コメント
			指標	目標	達成	
1	環蔵王関係市町村連携台湾プロモーション事業(4市町共通分)	プロモーション強化事業	宿泊者数	3,300	4,120	台湾プロモーションをはじめ、旅館関係者のセールス等により、かみのやま温泉及び山形県全体としての認知度が向上してきた結果と捉えている。来年度以降も、蔵王エリアの観光資源の磨き上げ・プロモーションに努める。
2	環蔵王関係市町村連携台湾プロモーション事業(上市市単独分)	プロモーション強化事業	宿泊者数	3,300	4,120	台湾プロモーションをはじめ、旅館関係者のセールス等により、かみのやま温泉及び山形県全体としての認知度が向上してきた結果と捉えている。来年度以降も、蔵王エリアの観光資源の磨き上げ・プロモーションに努める。

【山形県長井市 実施分】山形県観光復興対策実施計画 平成28年度個別事業評価調査

NO	事業名	事業区分	KPI(アウトカム)			個別事業に関する評価コメント
			指標	目標	達成	
1	多言語案内看板作成事業	受入環境整備事業	置賜さくら回廊入込客数	-	-	置賜さくら回廊の桜の名所をPRするため平成28年度は3基の多言語案内看板を作成。年度末に完了し平成29年度の桜の時に設置したため、平成28年度のアウトカムの数値はなし。
2	海外プロモーション事業	受入環境整備事業	旅行商品造成数	1	1	ランドオペレーター株GINGAインターナショナル及び東北ジャパンネットワーク株を起点として、台北市内のエージェントを訪問。現地の渡航状況の把握や情報を収集し、置賜さくら回廊の桜の名所をはじめとした置賜地域への旅行商品を提案した。
3	海外旅行会社招請事業	受入環境整備事業	旅行商品造成数	1	1	台湾から旅行会社を招請し、個人型旅行商品の造成を推進するFAMトリップツアーにおいて置賜さくら回廊の桜をメインに置賜地域を視察。桜の花見体験のデモンストレーションや他の季節の観光素材の提案を行った。個人向け模擬ツアーで検証を行い、旅行商品の造成と受け入れ態勢を整備した。
			マスメディア掲載数	1	1	
4	羽前成田駅トイレ洋式化事業	受入環境整備事業	①洋式化後の施設利用外国人増加数	85	5	整備完了が平成29年3月であり、アウトプットの指標は達成することができたが、アウトカムの目標値(外国人利用者数)は未達成である。
5	時庭駅トイレ洋式化事業	受入環境整備事業	①洋式化後の施設利用外国人増加数	28	2	同上

【山形県東根市 実施分】山形県観光復興対策実施計画 平成28年度個別事業評価調査

NO	事業名	事業区分	KPI(アウトカム)			個別事業に関する評価コメント
			指標	目標	達成	
1	無料公衆無線LAN整備事業	受入環境整備事業	整備後1年間の外国人客増加数	50人	-	各旅館とも、Wi-Fi整備が年度末であったことから、平成28年度の実績については、評価できる数値を得ることができず、平成29年度の目標値を設定し、評価を行っていく。 Wi-Fi整備を行い、外国人旅行者の受入態勢を図ったものの、どのように外国人旅行者の取り込みを図っていくかが今後の課題となる。山形空港並びに山形新幹線停車駅所在都市として、外国からのチャーター便や東京駅からの臨時便を活用した東北周遊ツアープランの宿泊地などとしてのPRを行い、誘客を図っていく。

【山形県尾花沢市 実施分】山形県観光復興対策実施計画 平成28年度個別事業評価調査

NO	事業名	事業区分	KPI(アウトカム)			個別事業に関する評価コメント
			指標	目標	達成	
1	観光施設Wi-Fi整備事業	受入環境整備事業	訪問先増加数	2	2	○Wi-fiの設置箇所は、18箇所(21AP)とした。H28年度のアkses件数は設置完了後のH29年1月～3月の結果である。特に銀山温泉や花笠高原スキー場を中心としてアクセスが多かった。冬期間は台湾や中国、東南アジアなどからの訪日外国人が多いこともあり、アクセス件数が伸びた。 ○アウトプット、アウトカム共に目標達成年度は平成30年としている。
2	国道347号広域観光多言語パンフレット作成事業	受入環境整備事業	掲載箇所へのインバウンド来訪者数	20000	10000	○パンフレットの設置場所は、2階2階で分設後、客々のPRポイントなどに設置。仙台国際空港や山形空港などに配置するほか、道の駅やレンタカー店などへの配置も実施。 ○冬期間は、台湾や中国などのツアーが多いため、パンフレットを見て周遊するまで至っていない。 ○ツアー客にも手に取ってもらえるが、ツアーよりも少人数で車で回っている方に有用と考えられる。

【山形県南陽市 実施分】山形県観光復興対策実施計画 平成28年度個別事業評価調査

NO	事業名	事業区分	KPI(アウトカム)			個別事業に関する評価コメント
			指標	目標	達成	
1	赤湯駅外国人対応設備事業	受入環境整備事業	整備後1年間の外国人利用者数	1,200人	-	年度末に整備が完了した事業のため、H29に目標値を設定している。
2	外国人・障がい者等対応ボランティア養成事業	受入環境整備事業	外国人観光客の利便性向上が図られ、施設利用者増加	200人	292	英語と韓国語の講習会を開催し、外国人対応のサービス力を向上させた。平成28年度赤湯温泉の外国人観光客の宿泊者数の聞き取り人数を指標とする。
			施設支援による利便性向上につき利用者増加	200人	292	外国人観光客と障がい者受入のバリアフリーガイドブックを制作し、観光地としての受入環境を整備した。平成28年度赤湯温泉の外国人観光客の宿泊者数の聞き取り人数を指標とする。
			障がいがある観光客への意識変化による観光地の意識向上	意識変化人数 20人	47	バリアフリー観光の受入増加には観光サービス提供者のみならず、地域の理解が不可欠である。そのための知識と心構えを普及し、今後のバリアフリー観光活動の啓発に努める。啓発事業参加者数を指標とする。
3	外国人向け魅力整理・動線調査事業	観光復興促進調査事業	調査結果を踏まえた受入環境整備事業の件数	5件	5件	外国人旅行者の興味関心を把握し、フィールドワーク等を通して旅行者目線で各観光要素の課題を整理し、核施設の環境整備に反映し、併せて台湾メディアでの情報発信を実施した。
4	海外メディア向け広告宣伝事業	プロモーション強化事業	視聴率	5%	2%	台湾メディア八大テレビの「世界正美麗」で、前編後編で放送された。同時間帯に放送されたバラエティ・旅番組と比較すると、前編後編ともに25～34歳の女性によく視聴され、ターゲットとしていた年齢層に訴求できた。
			旅行商品数	1	2	団体旅行商品と個人旅行商品を造成、販売した。 団体旅行商品が催行となり、19名をみちのくおとぎ街道へ送客することができた。
5	多言語化環境整備事業	受入環境整備事業	掲載施設への来訪者増加数	H29 10%増	-	年度末に整備が完了した事業のため、H29に目標値を設定している。
			設置施設への来訪者増加数	H29 10%増	-	年度末に整備が完了した事業のため、H29に目標値を設定している。
			サイトアクセス数	200件	2592件	台湾メディア八大テレビや台湾のfacebookで情報発信を行ったことで、繁体字の閲覧数を伸ばす結果となったと考えられる。今後もターゲット国への継続的な情報発信を行い知名度向上につなげていく。
			外国人利用者増加数	H29 20人	-	年度末に整備が完了した事業のため、H29に目標値を設定している。
6	多言語案内看板作成事業	受入環境整備事業	置賜さくら回廊入込客数	-	-	置賜さくら回廊の桜の名所をPRするため平成28年度は3基の多言語案内看板を作成。年度末に完了し平成29年度の桜の時期に設置したため、平成28年度のアウトカムの数値はなし。
7	海外プロモーション事業	受入環境整備事業	旅行商品造成数	1	1	ランドオペレーター一瀬GINGAインターナショナル及び東北ジャパンネットワークを起点とし、台北市内のエージェントを訪問。現地の渡航状況の把握や情報を収集し、置賜さくら回廊の桜の名所をはじめとした置賜地域への旅行商品を提案した。
8	海外旅行会社招請事業	受入環境整備事業	旅行商品造成数	1	1	台湾から旅行会社を招請し、個人型旅行商品の造成を推進するFAMトリップツアーにおいて置賜さくら回廊の桜をメインに置賜地域を視察。桜の花見体験のデモンストレーションや他の季節の観光素材の提案を行った。個人向け模擬ツアーで検証を行い、旅行商品の造成と受け入れ態勢を整備した。
			マスメディア掲載数	1	1	

【山形県中山町 実施分】山形県観光復興対策実施計画 平成28年度個別事業評価調査

NO	事業名	事業区分	KPI(アウトカム)			個別事業に関する評価コメント
			指標	目標	達成	
1	柏倉九左衛門家インバウンド受入体制強化事業	受入環境整備事業	①パンフレット掲載箇所への訪問外国人増加数 ②訪問先増加数 ③対象施設の利用外国人増加数	①300人 ②14 ③300人	①20人 ②3 ③20人	28年度は、WiFi整備・多言語音声ガイド・多言語案内看板設置の完成が年度末となり、事前の周知が徹底されず、当初計画していた3月開催の柏倉家ひな祭りの集客数増に結びつかなかった。しかし、少なからず訪れた外国人観光客はおり、音声ガイドを整備したことによる成果はあった。H30. 3月の柏倉家柏倉九左衛門家ひなまつり開催に向けて28年度に実施した多言語パンフレットを活用し、外国人観光客の集客増に努めていく。

【山形県金山町 実施分】山形県観光復興対策実施計画 平成28年度個別事業評価調査

NO	事業名	事業区分	KPI(アウトカム)			個別事業に関する評価コメント
			指標	目標	達成	
1	滞在コンテンツの強化	受入環境整備事業	外国人観光客の来訪者数	500人	200人	平成28年度に多言語化パンフレットの作成を行い完成することはできた。多言語化パンフレットが年度途中で完成したため、アウトプット及びアウトカムについては、次年度以降に目標達成を目指す。 作成した多言語化パンフレットを全て配布し、訪れた外国人観光客に聞き取り調査等実施することで、より分かりやすいパンフレットに修正し継続して活用できるように進めていく。

【山形県高島町 実施分】山形県観光復興対策実施計画 平成28年度個別事業評価調査

NO	事業名	事業区分	KPI(アウトカム)			個別事業に関する評価コメント
			指標	目標	達成	
1	外国人向け魅力整理・動線調査事業	観光復興促進調査事業	調査結果を踏まえた受入環境整備事業の件数	5件	5件	外国人旅行者の興味関心を把握し、フィールドワーク等を通して旅行者目線で各観光要素の課題を整理し、核施設の環境整備に反映し、併せて台湾メディアでの情報発信を実施した。
2	海外メディア向け広告宣伝事業	プロモーション強化事業	視聴率	5%	2%	台湾メディア八大テレビの「世界正美麗」で、前編後編で放送された。同時間帯に放送されたバラエティ・旅番組と比較すると、前編後編ともに25～34歳の女性によく視聴され、ターゲットとしていた年齢層に訴求できた。
			旅行商品数	1	2	団体旅行商品と個人旅行商品を造成、販売した。 団体旅行商品が催行となり、19名をみちのくおとぎ街道へ送客することができた。
3	多言語化環境整備事業	受入環境整備事業	掲載施設への来訪者増加数	H29 10%増	-	年度末に整備が完了した事業のため、H29に目標値を設定している。
			設置施設への来訪者増加数	H29 10%増	-	年度末に整備が完了した事業のため、H29に目標値を設定している。
			サイトアクセス数	200件	2592件	台湾メディア八大テレビや台湾のfacebookで情報発信を行ったことで、繁体字の閲覧数を伸ばす結果となったと考えられる。今後もターゲット国への継続的な情報発信を行い知名度向上につなげていく。
			外国人利用者増加数	H29 20人	-	年度末に整備が完了した事業のため、H29に目標値を設定している。

【山形県川西町 実施分】山形県観光復興対策実施計画 平成28年度個別事業評価調書

NO	事業名	事業区分	KPI(アウトカム)			個別事業に関する評価コメント
			指標	目標	達成	
1	川西町受入環境整備事業	受入環境整備事業	羽前小松駅利用者増加外国人数	32	32	羽前小松駅前公衆トイレの建替工事に伴い、入口に外国語表示も行い、各種イベントの参加者や駅利用者及び観光客等の利用者の増加も図られた。来年度以降もアウトカムの達成に努める。

【山形県白鷹町 実施分】山形県観光復興対策実施計画 平成28年度個別事業評価調書

NO	事業名	事業区分	KPI(アウトカム)			個別事業に関する評価コメント
			指標	目標	達成	
1	いきいき深山郷交流広場整備事業	受入環境整備事業	外国人利用者数の増	50	-	整備完了が平成29年3月であり、アウトプットの指標は達成することができたが、トイレの使用開始は平成29年度からであるためアウトカムの目標値(外国人利用者数の増)は未達成である。
2	多言語案内看板作成事業	受入環境整備事業	置賜さくら回廊入込客数	-	-	置賜さくら回廊の桜の名所をPRするため平成28年度は3基の多言語案内看板を作成。年度末に完了し平成29年度の桜の時期に設置したため、平成28年度のアウトカムの数値はなし。
3	海外プロモーション事業	受入環境整備事業	旅行商品造成数	1	1	ランドオペレーター株式会社GINGAインターナショナル及び東北ジャパンネットワーク㈱を起点とし台北市内のエージェントを訪問。現地の渡航状況の把握や情報を収集し、置賜さくら回廊の桜の名所をはじめとした置賜地域への旅行商品を提案した。
4	海外旅行会社招請事業	受入環境整備事業	旅行商品造成数	1	1	台湾から旅行会社を招請し、個人型旅行商品の造成を推進するFAMトリップツアーにおいて置賜さくら回廊の桜をメインに置賜地域を視察。桜の花見体験のデモンストレーションや他の季節の観光素材の提案を行った。個人向け模擬ツアーで検証を行い、旅行商品の造成と受け入れ態勢を整備した。
			マスメディア掲載数	1	1	

【山形県飯豊町 実施分】山形県観光復興対策実施計画 平成28年度個別事業評価調書

NO	事業名	事業区分	KPI(アウトカム)			個別事業に関する評価コメント
			指標	目標	達成	
1	冬期観光誘客施設受入整備事業	受入環境整備事業	整備後の来訪者増加率	25%	67%	言語表示やコース・駐車場整備をおこなったことで、目標値を大幅に上回る結果となった。
2	町内観光施設のネット環境整備事業	受入環境整備事業	訪問先増加数	5施設	-	整備完了が年度末であったため、アウトカムの達成値はH29を設定
3	中津川農家民宿多言語サービス整備事業	受入環境整備事業	中津川農家民宿組合員のタブレット端末利用者	100%	100%	100%のタブレット端末利用率となった。今後も現状を維持していきたい。
4	県内道の駅初！外国人案内所・免税店である「道の駅いいで」のための情報発信整備事業	受入環境整備事業	①設置後の外国人増加率 ②町内訪問先増加数	①25% ②5施設	-	整備完了が年度末であったため、アウトカムの達成値はH29を設定

【山形県三川町 実施分】山形県観光復興対策実施計画 平成28年度個別事業評価調書

NO	事業名	事業区分	KPI(アウトカム)			個別事業に関する評価コメント
			指標	目標	達成	
1	道の駅WiFi環境整備事業	受入環境整備事業	訪問先増数	3箇所	2箇所	町内の観光拠点である道の駅「庄内みかわ」において3施設にWiFi設備を設置し、無料の情報提供環境を整え来訪者へのサービス向上を図っているが、観光資源に乏しい本町においては直接的な効果(訪問先増数)が表れていない現状である。 今後は、道の駅を運営しているみかわ振興公社及び三川町観光協会、さらには近隣市町村とも連携を図りながら、町内施設情報及び庄内地域観光情報等の情報提供数を拡大して来訪者の増加を目指していきたい。

【山形県遊佐町 実施分】山形県観光復興対策実施計画 平成28年度個別事業評価調書

NO	事業名	事業区分	KPI(アウトカム)			個別事業に関する評価コメント
			指標	目標	達成	
1	多言語パンフレット作成	受入環境整備事業	外国人入山者数	500	311	一番入山者数が増えることが予想される夏山シーズンに向け各種のイベントでのパンフレットの配布、エージェンต์に対するの営業を行った。今後も継続して行いたい。また、毎年造成している韓国のエージェンต์を通しての鳥海山登山・観光ツアーの参加者へも配布し参加者、エージェンต์より満足感の向上が図られた。